



日本病院会 会長
相澤 孝夫

超高齢化社会にける複雑な病態に 対応できる医師の育成を

医療の専門化、細分化が進み、総合的に患者さんの病態に対応することのできる医師不足が懸念されている中、2018年4月より日本病院会は5つの理念のもと、日本病院会認定“病院総合医”育成事業をスタートしました。“病院総合医”として、超高齢化社会における複合疾患をもつ患者さんの病態に対応し、専門性を持ちつつも、総合的な診療ができる医師が必要です。また、将来的に診療と病院組織を結ぶ役割を担っていける医師としても活躍を期待しています。日本病院会は先頭に立って“病院総合医”の育成を目指します。みなさま奮ってのご参加をお待ちしております。



日本病院会 副会長
病院総合医育成事業担当

仙賀 裕

医師のセカンドキャリアとしての 病院総合医を目指して

2018年4月から開始した“病院総合医”育成事業は、2024年1月時点で187施設が育成プログラム認定施設となりました。2024年5月時点で、262名の“病院総合医”が誕生し活躍しています。

患者さんから信頼され、病院組織としてリスペクトされる“病院総合医”の育成を目指して、また、医師のセカンドキャリアとしての日本病院会認定“病院総合医”を積極的に育成してまいります。多くの病院が育成プログラムを作成され、この事業にご参加されますことを期待しています。



日本病院会
病院総合医認定委員会
委員長

副島 秀久

育成プログラム認定施設への申請と 病院総合医育成をお願いします

262名の認定した“病院総合医”は、現時点では、病院長や副院長、部長等の管理職の方を中心に認定しています。今後は、育成プログラム認定施設において認定した“病院総合医”が若い医師の育成を期待します。卒後6年以上の医師であればどなたでもご参加可能です。まずは育成プログラム認定施設となっただき、多くのご参加をお待ちしております。

■お問い合わせ

日本病院会「病院総合医」係 Email : sogoi@hospital.or.jp
〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15 ホスピタルプラザビル
●詳細は <https://www.hospital.or.jp/sogoi/> をご覧ください。

日本病院会認定 病院総合医

育
て
よ
う
病
院
総
合
医



＋ 病院総合医とは

「病院総合医」とは、高い倫理観、人間性、社会性をもって総合的な医療を展開する医師を指します。日本病院会では当会の掲げる理念に基づき、必要なスキルを習得し、到達目標を十分達成することによって「病院総合医」として認定します。

当育成事業では、「病院総合医」を育成するプログラムを募集・認定し、プログラムの修了者に「病院総合医」の認定証を発行します。



対象・研修要件

施設参加要件	日本病院会の会員病院とします。病床規模は問いません。 当事業の理念に賛同し、「病院総合医」を育成することを目指す病院であれば自院単独での研修が困難な病院でも広くご参加いただけます。
育成対象	卒後6年目以降の医師を対象とします。
研修期間	原則として2年間です。ただし、病院総合医育成プログラム基準の「到達目標」を十分達成すると認めた場合には、1年間研修期間を短縮することが可能です。
参加費	■病院総合医育成プログラム認定料：33,000 円 ■病院総合医認定料：16,500 円 ■病院総合医更新料：16,500 円

病院総合医認定までの流れ

